

総合 太田病院だより
hope
2003.9.1
No.004
ホープ

【医学まめ知識】月に1回は自分でチェック！
乳ガンの自己診断



優先的に診察してもらおう！

**病院の上手な
ご利用法(2)**

**国連難民高等弁務官
事務所 (UNHCR)
より表彰**

優先的に診察してもらおう!

病院の上手なご利用法(2)

『紹介状』をお持ちいただいた患者様は、優先的に診察いたします。

当院は地域の先生と協力して、役割に応じた効率的で良質な医療の提供に努めています。

広い知識に基づいて初期の診察をおこなう『かかりつけ医』と、入院治療などをおこなう病院との役割を明確にして、地域で皆様の健康管理をおこなうことを目的としています。



紹介状をお持ちになられた方の受診の流れ

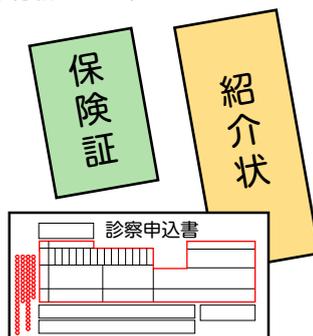
初診受付へおいでください

紹介状をお持ちの初診の方は初診受付(紹介患者受付)においでください。



受付時以下のものがが必要です

診察申込書をご記入の上、紹介状・保険証を提出してください。(診察券をお持ちの方は添付願います。)



窓口にある「診察申込書」に必要事項をご記入ください

診察券は、すでにお持ちの方のみ提出してください



カルテを受け取り、各診療科へ

初診受付にて診療録(カルテ)を受け取り、受診科の窓口にお持ちください。



必ずカルテを受け取ってから各診療科へ移動してください!

ご不明な点がございましたらお気軽にお近くの職員にお声掛けください

国連難民高等弁務官事務所

UNHCRより感謝状

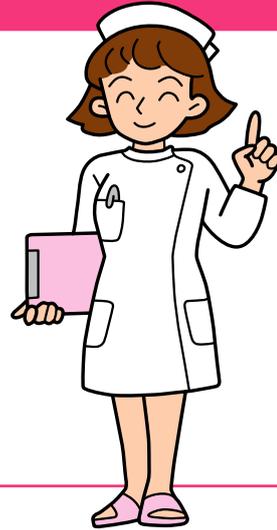
瀕死の重傷を負って緊急入院した、ベトナム難民の救命治療・回復支援に対しUNHCRより感謝状が贈られました。



浅羽副代表(右)から感謝状を贈られる新原院長

月に1回は自分でチェック! 乳ガンの自己診断

乳ガンは、欧米の女性に多く日本ではそれほど多くありませんでした。しかし、最近では食生活が欧米化し、乳ガンの患者数は増えています。乳ガンは早期に発見し、治療を受けることでほとんど治る病気です。月1回の自己検診で、早期発見することが大切です。



今回の講師



総合太田病院
外科医長

渡邊 靖夫

STEP

1

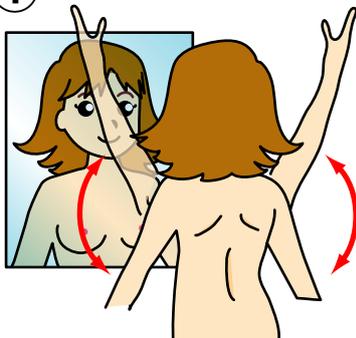
まずは症状のチェック

乳ガンの症状は・・・➡

- ① 硬くて痛みのないシコリ
- ② 乳頭の陥没、湿疹のようなただれ
- ③ 皮膚のエクボのようなへこみ
- ④ 乳頭から血液の混じった分泌液が出る
- ⑤ わきの下に硬いリンパ節が触れる

入浴後、鏡に向かって

①



STEP

2

どんな方法で?

自己検診法は大きく分けて4段階

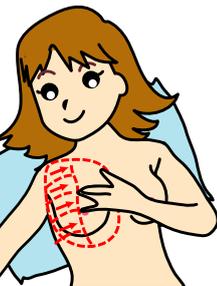
- ① 鏡の前で、両腕を上げ下げして、乳房全体をよく観察しましょう。
- ② あおむけに寝て、検診する側の肩の下にタオルを入れ、乳房を平らにしましょう。4本の指の腹全体で、押しつけるようにさわります。指先でつままないようにしましょう。
- ③ ワキの下に硬いリンパ節が触れないか、指先で確かめましょう。
- ④ 乳頭を軽くつまみ、血液の混じった分泌物が出ないか確かめましょう。

ベッドやふとんであおむけに寝て

②



乳房の内側を調べる

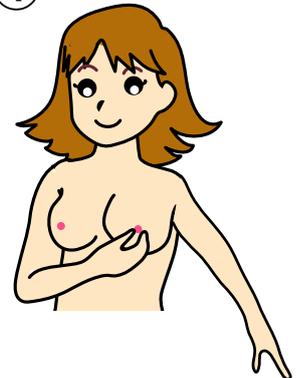


乳房の外側を調べる

③



④



シコリが見つかったても、必ずしもガンとは限りません。

異常を見つけたら、ひとりで悩んでいるよりも出来るだけ早く専門医の診察を受けましょう。

優先的に診察してもらおう!

病院の上手なご利用法(2)

『紹介状』をお持ちいただいた患者様は、優先的に診察いたします。

当院は地域の先生と協力して、役割に応じた効率的で良質な医療の提供に努めています。
広い知識に基づいて初期の診療をおこなう『かかりつけ医』と、入院治療などをおこなう病院との役割を明確にして、地域で皆様の健康管理をおこなうことを目的としています。



紹介状をお持ちになられた方の受診の流れ

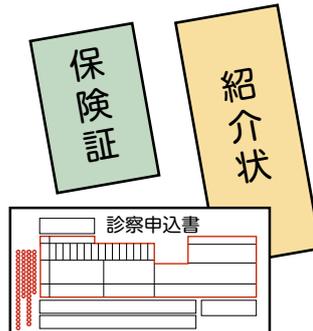
初診受付へおいでください

紹介状をお持ちの初診の方は初診受付(紹介患者受付)においでください。



受付時以下のものが必要です

診察申込書をご記入の上、紹介状・保険証を提出してください。(診察券をお持ちの方は添付願います。)



窓口にある「診察申込書」に必要事項をご記入ください

診察券は、すでにお持ちの方のみ提出してください



カルテを受け取り、各診療科へ

初診受付にて診療録(カルテ)を受け取り、受診科の窓口にお持ちください。



必ずカルテを受け取ってから各診療科へ移動してください!

ご不明な点がございましたらお気軽にお近くの職員にお声掛けください

国連難民高等弁務官事務所

UNHCRより感謝状

瀕死の重傷を負って緊急入院した、ベトナム難民の救命治療・回復支援に対しUNHCRより感謝状が贈られました。



浅羽副代表(右)から感謝状を贈られる新原院長